

SUN

Soka Univ. News



[特集2] この4月、国際教養学部がスタート!
The Faculty of International Liberal Arts Starts!

[特集3] 2013年度卒業生の進路紹介
Feature: Career Paths for Graduates

[特集4] 注目の“シェア・タイム”をクローズアップ!
Taking a closer look at “Share Time”

創価大学
さくら&食堂
MAP付き!



創価大学長
ばばよしひさ
馬場 善久

1953年富山県生まれ。創価大学経済学部卒。カリフォルニア大学サンディエゴ校経済学研究科博士課程修了。Ph.D.取得。専門分野は計量経済学。創価大学経済学部講師、助教授を経て教授。1996年教務部長、2005年副学長、2013年創価大学学長。主な著書に、本多 佑三編『日本の景気 - バブルそして平成不況の動学実証分析。(有斐閣、第5章、1995年)』など多数。

グローバル社会における人間教育の新たな展開

—多様性の中での地球市民の育成—

高等教育には、社会の要請に適った人材を育成するという使命に加え、あるべき社会を切り開く人材を育成する使命もある。創立50年(2020年)を目指したグランドデザインの中では、そうした使命に応える道筋として、「創造的人間」の育成を果たす大学たらんという目標を掲げた。グランドデザイン第2ステージの第2年目にあたる本年度は、2度目の認証評価を受審するとともに、多くの学部で新カリキュラムをスタートさせる重要な節目となる。その節目にあたり、以下の3点について重点的に取り組むこととしたい。

- ① **新学部ならびに新カリキュラムのスタートに全力を傾注**
- ② **授業と実社会を架橋するアクティブな学習の導入・普及を推進**
- ③ **アドミッションのあり方を見直し、本学独自の人材確保戦略を検討**

本年度は「国際教養学部」を開設する。1年次の夏から1年間、留学を義務づける斬新な教育課程を組み込んでいる。また経済学部・経営学部・法学部・教育学部、そして通信教育部で、それぞれの人材養成のビジョンにもとづいた新カリキュラムがスタートする。工学部は、学科の再編を含んだ、教育内容の見直しに取り組む。全学共通科目においても、大幅なカリキュラム改編を行った。この改編で教育改革における理念の実現に全力で取り組み、その成果をエビデンスとして蓄積し、自己点検評価を進める「評価」の風土を定着させたい。

本学では、中央教育棟内の総合学習支援センター「SPACE」を舞台に、学生の「主体的な学習」が活発となっている。しかし、「主体的な学習」を広く学生の間に喚起させるには、授業の改善・充実が急務の急と言えよう。「何のための学びか」が教員・学生に共有されない状況では、「主体的な学習」は起こりえない。その意味で、実社会での体験と大学での学びを架橋するためのアクティブな学習を各教育プログラムの中に効果的に取り入れることを推進していく。

グローバル社会における大学にとって、多様な学生集団を得る重要性はますます高まっている。本学では、交換留学生を含めて40数ヶ国・地域から約300名の留学生がキャンパスで学んでいる。本学が目指す、多様性の中での地球市民の育成を考える時、国内外から多様な人材を確保することが必要不可欠である。本年度は、そのための本学独自のアドミッション戦略の検討に着手する。

グランドデザインは、50周年という一つのゴールを目指して描いた改革の設計図ではあるが、大学を取り巻く環境・条件の変化は、想定を超えるものにならないとは限らない。その意味で第2ステージは、変化を見定める努力とともに、変化に対応しうる機動性を高める、基礎的な体制整備を進める時と位置づけたい。グローバル化が進む社会にあって、多様性を尊重しつつ、自ら判断・行動できる人材の育成を目指して、本学の教・職・学全ての構成員と力を合わせて、掲げたビジョンの達成を期してまいりたい。

Nurturing global citizens in the midst of diversity a new development in fostering human resources for a global society

The mission of higher education involves nurturing individuals who can respond to the demands of society and creating a new, ideal social paradigm. Soka University's "Grand Design" was formulated in anticipation of the university's 50th anniversary in 2020, and in an effort to fulfill that educational mission, one of its goals is to help Soka University become a university that nurtures creative individuals. This academic year is the second year of Stage 2 of the Grand Design, and it marks an important milestone. The university will undergo review for its second accreditation this year, and we also plan to begin new curricula in several of our faculties. To achieve our goals this year, we hope to primarily focus on the following three areas:

- **Wholeheartedly devote our energies to inaugurating new faculties and new curricula**
- **Introduce and popularize "active learning" to bridge the gap between the classroom and the real world**
- **Rethink our admissions process and consider an original Soka University strategy for reaching out to students**

This year, we inaugurated the Faculty of International Liberal Arts that includes an innovative educational program specifically created for the faculty which mandates students to study abroad at one of our partner universities for an year starting the summer of their freshman year. Two years ago, the Faculty of Letters introduced a new curriculum, and soon, other faculties will also introduce new curricula based on their respective human resource development visions. These faculties include the Faculty of Economics, the Faculty of Business Administration, the Faculty of Law, the Faculty of Education, and the Faculty of Distance Learning. The Faculty of Engineering will undergo reorganization and its educational content will be revised. The curricula for subjects common to all the faculties have also been significantly restructured. Through these reorganization efforts, we will devote ourselves to implementing

our philosophy of educational reform gather the results, and analyze them to create a culture of self-evaluation.

At the Soka Performance Acceleration Center (SPACE) located in the Global Square, students have been actively participating in independent learning. Of course, in order to inspire more students to take up independent learning, we urgently need to augment and improve the quality of our teaching staff. Unless teachers and students share a common understanding of the learning goals, independent learning cannot take place. In this context, we will work to effectively incorporate active learning into each educational program with a view to bridging the gap between real world experience and university education.

As a university functioning in a global society, it has become increasingly important for us to reach out to a wide range of students, about 300 foreign students from 40 countries and regions around the world, including exchange students, are currently studying at the Soka University campus. It is essential for us to attract a diverse range of students both from Japan and abroad if we are to realize our vision of nurturing global citizens in a culture of diversity. This year, we hope to begin discussions on a new university admissions strategy to further reach out to such students.

The Grand Design is a blueprint of reforms formulated with the university's 50th anniversary in mind, but the environment and conditions in which the university is placed may change more dramatically than we can predict. Therefore, we would like to take Stage 2 of the Grand Design as a chance to take stock of such changes, to increase the university's flexibility in responding to them, and to lay the structural foundations we need to keep up with the times. In our increasingly global society, we must aim to nurture individuals capable of making their own decisions and acting on their own initiative while respecting the diversity of our planet. We hope to work as a team with the teaching staff, administrative staff, and students acting together to make the university's vision a reality.

新学部開設ならびに改組転換の推進

- ① 国際教養学部の開設
- ② 理工学部への改組、工学部生命情報工学科、環境共生工学科を共生創造理工学科1学科へ(設置構想中)

教育戦略

- ① 新教育プログラムに全力を傾注するとともに、真の「評価文化」を確立
- ② 「グローバル人材育成」取り組みの本格的展開
- ③ 総合学習支援センター「SPACE」の積極的活用で「主体的な学習」を促進
- ④ キャリア教育の充実

教員の研究・教育活動のさらなる活性化

- ① 研究環境の整備・充実
- ② FD活動の推進
- ③ 「教員の総合的業績評価制度」の導入

学生支援の充実

- ① 奨学金制度の拡充
- ② 学生寮の国際的展開
- ③ 学生生活ポリシーの発表
- ④ 学生生活支援のさらなる充実

国際交流の推進

- ① 海外研修・留学プログラムの充実・拡大
- ② 外国人留学生数の拡大
- ③ 海外交流校との記念行事の開催

キャンパス整備・財政計画

- ① 教育学部棟増改築工事
- ② 今後の建設計画の策定
- ③ 中長期財政計画の検討

大学運営体制強化のための改革

- ① 事務組織の再編成
- ② 職員の業務評価制度の導入

通信教育部の改革

















- ① 新カリキュラムスタート
- ② 「学習支援推進室」を設置し、サポート体制を充実

4月に開設した国際教養学部。マリア・グアハルド学部長をはじめ、グローバル・リーダー育成の場にふさわしい学習環境と、国際色豊かな教授陣に注目が集まっています。

世界から結集した
教員の皆さん



学部長 マリア・グアハルド
Maria Guajardo
Education and Youth Development,
Cultural Competency,
Early Childhood Education

 デイヴィッド・ダガティ D. Malcolm Daugherty Teaching English as a Second or Foreign Language (TESOL)	 ジョン・グレン John Glenn International Relations	 ヴァレリー・ハンスフォード Valerie Hansford Teaching English to Speakers of Other Languages (TESOL)	 小出 稔 Minoru Koide 国際関係論
 ハートム・レンツ Hartmut Lenz Political Science, International Relations	 ラリー・マクドナルド Lary MacDonald International and Comparative Education; Teaching English as a Second Language	 前川 一郎 Ichiro Maekawa イギリス帝国史/国際関係史	 ハルノリ・ミヤギ Harunori Miyagi Second Language Teaching
 小山内 優 Masaru Osanai 大学アドミニストレーション、大学の研究活動及びパブリック・サービスの分析	 アントウン・オズターク Ugur Aytun Ozturk Management Science, Industrial Engineering, Operations Research	 ロバート・シンクレア Robert Sinclair Philosophy	 杉本 一郎 Ichiro Sugimoto 数量経済史・東南アジア経済史
 高橋 一郎 Ichiro Takahashi マクロ経済学、ゲーム理論	 ジョージ・ワン Yungchih George Wang Finance, Economics	 山田 竜作 Ryusaku Yamada 政治理論、政治思想史	 ジョアナ・ズルエタ Johanna Zulueta Sociology, Global Studies

世界に直結した授業



国際教養学部では、学問分野を超えた幅広い視野、異文化理解力、人類と国際社会の繁栄に貢献するグローバル・リーダーを育成するためのプログラムが展開されています。

全員留学と英語による授業

1年間の留学(必修)後の授業はすべて英語で展開されます。

国際性豊かな学習環境

12言語を駆使する教授陣が、英語運用能力と異文化理解力を養います。

国際力 × 学際力 × 実践力

グローバル企業、国際機関等への就職、研究者等への道を実現します。

世界で活躍する先輩から新学部生へ

将来、国際協力の現場で一緒に働きましょう!
Let's work together towards international cooperation.



青木 美由紀 さん
Miyuki Aoki

創価大学文学部英文学科卒業
(特活) シェア=国際保健協力
市民の会勤務

国際教養学部では、語学力はもちろん、多種多様な文化や価値観を尊重できる寛容性、異なった意見にも耳を傾けながら自分の考えをしっかりと伝えるコミュニケーション力など、国際社会で必要とされる力を身につけることができると確信しています。国際協力の現場で一緒に活動できる人材が続々と輩出されることを心から楽しみにしています!

学際性・国際性を軸に国際人としての土台を作り上げてください!
Build a solid foundation as global citizens centering yourself with interdisciplinary and internationality.



帯刀 良信 さん
Yoshinobu Tatewaki

創価大学経営学部経営学科卒業
アジア開発銀行 (ADB) 勤務

「歴史への眼を磨け」との創立者の励ましは、いかなる道に進んでも人間として偉大な生き方とは何かを探求せよ、人間主義を根本に万事を学べと、卒業して20年たった今なお、私の胸に刻まれています。国際教養学部の皆さんが、学際性・国際性を軸に国際人としての土台を作り上げ、将来、人々の幸福と平和のために尽力する世界市民へと成長されることを、心から期待します。

国際教養学部は日本の大学をリードする存在になるでしょう。
The Faculty of International Liberal Arts is going to lead Japanese Universities.



中田 啓子 さん
Keiko Nakata

創価女子短期大学英語学科
創価大学経済学部経済学科卒業
在リトアニア大使館政務班
専門調査員

国際教養学部では一人ひとりを大切に指導して下さる国際色溢れる教授が揃い、学生の可能性を最大限に発揮し、成長し続けることができる環境が広がっています。男女ともに国際舞台で活躍する機会が一層増していく現代だからこそ、国際教養学部にある挑戦できる環境は日本の大学をリードする存在になっていくと思います。

“異なること”に対する柔軟性、忍耐力を養ってください!
Foster flexibility and perseverance toward diversity!



小牧 広宣 さん
Hironobu Komaki

創価大学経済学部経済学科卒業
大手総合商社インドネシア駐在
事務所勤務

国際教養学部の特色として挙げられる英語での授業の実施は、英語が得意ではない学生にはハードルが高いと考えられますが、日本に居ながら英語を学べる大変ユニークな取り組みです。また、英語で授業が行われるだけではなく、全員が海外留学を経験し身をもって異文化に触れることで“異なること”に対する柔軟性と忍耐力が培われると思います。

本年3月に社会に飛び立った皆さん。卒業後の抱負を語っていただきました。



テルモ株式会社

荒木 桃子

Momoko Araki (京都府出身)

法学部
法律学科卒業

大学ではディベート部、留学生残寮生、国費留学で中国へ行くなど、勉学、インターンに励みました。将来、世界の医療水準向上に貢献できるように挑戦し続けます！

“My dream is to help raise the standard of healthcare around the world.”



日本アイ・ビー・エム株式会社

松井 翼

Tsubasa Matsui (京都府出身)

経営学部
経営学科卒業

アメリカ留学や、「ソウルミュージック研究会」での留学生との交流を通して、世界で活躍したいという想いを深めました。IT 技術で世界の諸問題に貢献します！

“My goal is to help solve the world's problems using information technology.”



UDトラックス株式会社

深澤 裕輔

Yusuke Fukazawa (静岡県出身)

工学部
情報システム工学科卒業

13年間続けたサッカー、滝山寮でのサポートスタッフ、ニューヨーク留学での核廃絶イベントのボランティア等、すべてが力に！グローバルな舞台で全力で挑戦します！

“My dream is to work at a company that plays a role on the global stage.”



日本GE株式会社

衣笠 勇二

Yuji Kinugasa (岡山県出身)

経済学部
経済学科卒業

IPで英語力をつけ、フィリピンの社会福祉調査 NGO でインターン、デリー大学で開発経済学を英語で学びました。世界的メーカーGEで社会の課題解決に挑みます！

“I will take on the challenge of resolving societal issues at GE, one of the world's top companies.”



文部科学省

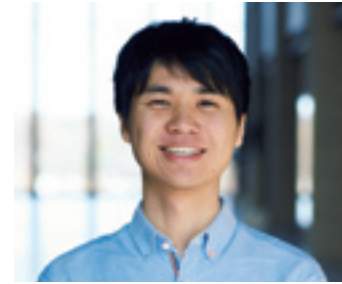
津田 ひとみ

Hitomi Tsuda (大阪府出身)

文学部
人間学科卒業

子供達が安心して自分らしく学べる教育環境を支援したいと、文部科学省を志願。日本の明るい未来作りに貢献していきます！

“I will create a learning environment where children can learn at ease.”



香川県庁

杉上 厚史

Atsushi Sugieue (香川県出身)

法学部
法律学科卒業

国家試験研修室や公務員専門のアカデミーに通い、「後悔しない勉学」で公務員試験を突破！生まれ育った香川のために尽くしていきます。

“I'm proud of myself for working at a place where I can contribute to Kagawa, where I was born and grew up.”



2013年度司法試験合格

中林 勇也

Yuya Nakabayashi (群馬県出身)

法科大学院
法務研究科修了

大学・大学院では、友人とともに法律家としての基礎的実力を磨きました。誠実さを忘れず、信念と実力を兼ね備えた弁護士になれるよう努力して参ります！

“I will try my best to become a lawyer with conviction and competence.”



沖縄県小学校教員

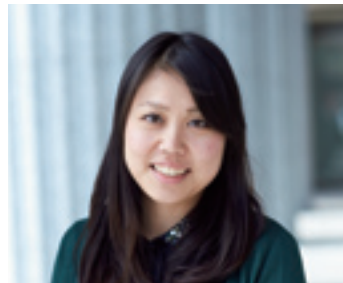
宮城 和美

Kazumi Miyagi (沖縄県出身)

教育学部
教育学科卒業

目の前の一人ひとりを大切に創価の人間教育者として、子供達の可能性を開き、教室という小さな空間から世界に飛躍する人材を育成します！

“As a teacher, I will cherish children and help them expand their potential.”



パナソニック株式会社

真田 百合子

Yuriko Sanada (京都府出身)

文学部
人間学科卒業

創大では語学研修、フィリピン長期留学に挑戦してボランティアやインターンシップを経験。これからは世界に誇る日本一の家電メーカーで世界に挑戦します！

“I hope to reach out to the world through working for Japan's top household appliance manufacturer.”



ユニ・チャーム株式会社

平澤 誠

Makoto Hirasawa (大阪府出身)

教育学部
教育学科卒業

福祉に興味を持ち、介護施設での体験や高齢化が進む中国へ1年間交換留学を経験。世界中の子ども、女性、高齢者の自分らしい生き方に貢献します！

“I want to help children, women and elderly people around the world live the way they are.”



株式会社エヌ・ティ・ティ・データ関西

松宮 美穂

Miho Matsumiya (京都府出身)

経済学部
経済学科卒業

ビジネスコンテストに創大で初参加し、「中小企業の障害者雇用促進プロジェクト」をテーマに、1位を獲得！これからは職場で光る女性リーダーを目指します！

“As a woman, I will do my best to become a respected leader in the workplace.”



三菱商事株式会社

前野 理子

Riko Maeno (千葉県出身)

経済学部
経済学科卒業

往復6時間の長距離通学を続けながら IP を最速で修了し、メキシコ留学でスペイン語も習得しました。世界トップの商社で、新しいビジネスを創造します！

“I hope to create new business opportunities at the world's top trading company.”



東京消防庁

楨野 竜也

Tatsuya Makino (大阪府出身)

経営学部
経営学科卒業

体操部の部長として関東学生体操競技交流大会に参加するなど努力を重ねてきました。「都民が安心して暮らせる街」作りに貢献します！

“I'll contribute to work a better Tokyo where the residents can live in peace.”



長崎県警察本部

森 寛嗣

Hirotsugu Mori (長崎県出身)

法学部
法律学科卒業

空手道部で心身共に鍛えてきました。生まれ育った長崎の安全のため、犯罪を未然に防ぐことに身を挺する警察官として頑張ります！

“As a policeman, I'll do my very best to live up to the expectations of the prefecture's residents.”



監査法人トーマツ

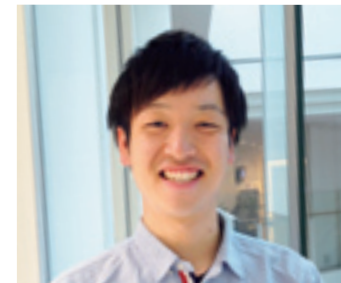
斎藤 和城

Kazuhiro Saito (東京都出身)

経営学部
経営学科卒業

公認会計士資格取得を目指し、専門学校・国研での毎日12時間勉強に挑戦。大学3年次に一発合格を勝ち取りました。創大の名を誇りに社会で実証を示していきます！

“As a Soka University graduate, I would like to get actual results in the real world.”



兵庫県中学校教員社会科

松山 嵩

Takashi Matsuyama (兵庫県出身)

文学部
人間学科社会学専修卒業

学校インターンシップ、インドネシアの孤児院でボランティアを体験し、教育の視野を広げました。子供達が「勉強は楽しい」と思える指導力をつけていきます。

“I'll keep improving my ability to help students find that learning is fun.”

GCP 1期生の進路紹介

Career Paths for GCP students of the inaugural class



外資系証券会社内定

須藤 英男 Hideo Sudo (山梨県出身)
経済学部経済学科在学

GCP ありきで創大を受験しました。「プログラム・ゼミ」では問題を考え、答えを出す思考力が徹底的に鍛えられました。4年間は時間的、体力的、精神的にもタフでしたが、そこで身に付けた力を社会で生かしていきます。

In these four years I learned how to think and how to solve I'll use this ability to contribute to the society.



横浜市役所

下山 萌代 Tomoyo Shimoyama (東京都出身)
法学部法律学科卒業

フィリピン研修において、医療格差についてフィールドリサーチを行い、価値観が大きく変わりました。GCP で学びの基礎を磨いたおかげで、現役で難関の公務員試験に合格することができました。これからは生活困窮者の自立支援や就職支援に携わっていきます。

The experiences in the Philippines totally changed my value. I enter government service and will devote myself to help the needy hereafter.

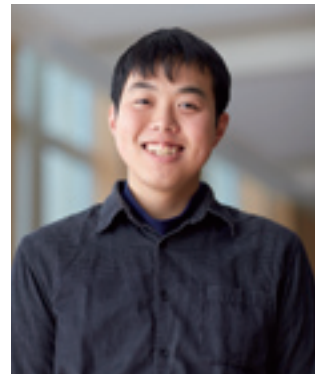


モントレー国際大学院合格

田村 聡美 Satomi Tamura (東京都出身)
法学部法律学科卒業

GCP は課題量も多く授業の準備も大変ですが、自分で考え一歩の奥まで読み取ることを学びました。ノーベル平和賞受賞者サミットやG8 青年サミット、ハーバード国際会議参加の経験を活かし国際機関の職員を目指します。

"I'd like to use my experiences in international conferences and summits to work on the global stage."



海外大学院進学予定

菅原 将 Sho Sugawara (東京都出身)
工学部生命情報工学科卒業

高校時代から生命科学の研究者を夢見て、アメリカの大学院を目指してきました。GCP で英語を徹底して身につけ、夢に確実に向かっていく実感があります。ウイルス研究の分野で成果を挙げられるよう頑張ります！

I was dereaming to become a researcher in the life sciences and now I'm sure to be on the way. I'll continue study and hope contribute in the field.

進路・就活を強力に支援するCSS・RSS

“先輩が後輩をサポートする”という特色あるシステム！
それは一人ひとりのキャリアと進路を開く成果をあげています。

CSS
キャリア・サポートスタッフ

1・2年生の大学生活の
目標作りを支援

CSSは進路が決まった4年生達が「キャリアデザイン基礎」という授業にも携わっています。自分達の体験を生かしながら、今までに **708名**と個人面談。履修者からは「学生生活で挑戦する事が明確になった」と好評です！



RSS
リクルート・サポートスタッフ

3年生の就職活動を
細やかに支援

RSSは4年生の就職内定者達が「キャリアビジョン」という授業にも携わり、3年生それぞれの状況に合わせた適切なアドバイスで全面的に支援します。今までに **1076名**と面談して、先輩から後輩へ就職の道をつないでいます！



GCP 1期生の輝かしい成果

GCP student achievements

2010年にスタートした グローバル・シティズンシップ・プログラム (GCP)の4年間の成果を 西浦教授、佐々木准教授に 語っていただきました。



左から佐々木 諭准教授 (GCPコーディネーター、医学博士)、
西浦 昭雄教授 (学士課程教育機構 副機構長、経済学博士)

西浦: 2010年にスタートした GCP(Global Citizenship Program) は、経済・経営・法・文・教育・工の6学部から選抜された約 30名が、世界水準の教養と海外大学院レベルの英語力、様々な社会現象の分析能力を身につけるために切磋琢磨するプログラムです。いよいよ第1期生が旅立ちますが、私は彼らに、期待以上に頑張ってくれたと賞賛の言葉を贈りたいと思います。

佐々木: 学生の伸びる力は想像以上でしたね。彼らは4年間“学ぶ”に徹してきましたが、それは受験勉強以上に厳しいものだったと思います。

西浦: 教員も熱心に学生をサポートしましたが、彼らの学習意欲の高さに、逆に刺激を受けていました。英語の教員からは、TOEICの高得点はもちろん、コミュニケーション力がこれほど伸びた学生はいないという声がありました。

佐々木: 人によって、伸びる時期や伸び幅が違いますから、一人ひとりの潜在能力を最大限引き出すために、教員が学生の状況に応じてきめ細かく対応してきました。

西浦: 東日本大震災で被災し、実家を流されるという困難の中、留学を果たした学生、また国際会議に日本代表として出席した学生もいます。GCPの卒業生は、ひ弱なエリートではなく、自分が先頭に立ち、周りを巻き込んで進んでいく意欲に溢れ、かつスキルを習得しています。

佐々木: 社会のために何かをしたいという志向性、自分の人生をかけて何かを成し遂げたいという想いがあってこそGCPでの成果が生かされます。

西浦: 第1期生 32名は4割が、東大・京大などの国内大学院や海外大学院へ進学する予定ですが、数年後、研究者、教員、国際公務員、国際的な企業のビジネスマンなど、世界のトップランナーとして活躍しているでしょう。続く2期生、3期生ら後輩のサクセスモデルになる、輝かしいスタートを切ってくれました。

G C P 4 年 間 の 成 果



**社会システム
ソリューション
能力を高める授業**

国内外の一流企業で活躍するためにはデータ活用・分析が不可欠です。1年間、徹底してデータ分析能力を身につける授業が行われました。



**海外研修で英語
コミュニケーション**

フィリピン海外研修では実践的な英語コミュニケーションを体験しました。また、現地でのフィールドワークは、「国際化」には欠かせない、異文化理解力と問題分析力を習得する絶好の機会となりました。



**ノーベル平和賞
受賞者サミットに
参加**

GCP生が3回続けてノーベル平和賞受賞者サミットに参加しました。本学創立者と交流のある海外識者との出会いを通して、平和建設の主体者としての自覚を新たにしました。



中央教育棟 SPACe の“シェア・タイム”。学生や教職員が自分の経験や興味を発表するプレゼンテーションが面白いと注目されています。その一部を紹介します。

プレゼンテーション_1
イスラエルの文化と魅力

2013年10月18日発表
Ifty Har-gil
イフテー バルーギル
(イスラエルからの留学生)

「中東地域には 6,000 年の歴史があり人類文明が起きた地ですが、イスラエルはユダヤ教、キリスト教、イスラム教の 3 大宗教が集結し、これらの宗教にとって重要な地です。また、イスラエル 2 大都市のひとつエルサレムは歴史と政治の都市、テルアビブは商業都市で、油田がないイスラエルの経済を支えています。現在のイスラエルはとても複雑な国で、全てを話すのは難しいですが、その一端を紹介します。」

Har-gil さんの発表内容から



中東の地図やモスク、漫画など、現地に住んでいる人ならではの情報が満載でした。

シェア・タイムを経験して

「エルサレム出身の学生の視点から、中東の小さな国、イスラエルを知ってもらいたいとトライしました。プレゼン後の質問では、お薦めの場所や、日本との違いなどをいろいろ聞かれ、興味を持ってもらうことができました。」

スマートフォンで動画を見てね!



ボランティアスタッフが企画、運営しています!



吉岡 光子 (法学部 2 年)

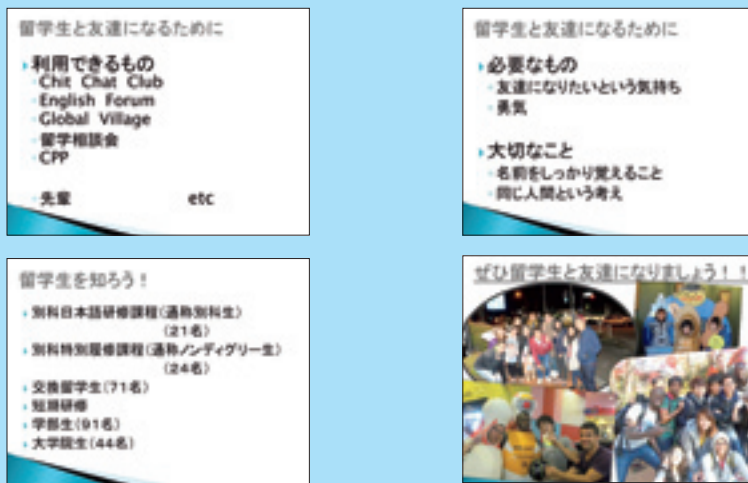
シェア・タイムは、私達学生のボランティアスタッフが運営する、創大ならではの企画です。自分が一生懸命に取り組んだことを発信し、また参加者は、「自分には何ができるだろうか」と触発されます。皆さんもぜひ参加してください!

プレゼンテーション_2
留学生と友達になろう!

2014年1月8日発表
中山 潤一
(教育学部 2 年)

「私の初めての留学生の友達は、食堂で声をかけた韓国人でした。人見知りですが勇気を出して、積極的に声をかけることで様々な国の友達が増えました。彼らとの交流を通じ、日本では当たり前なのが、世界ではそうでないことを知り、視野が広がりました。現在、創大には、留学生が約 350 名もいます。ぜひ、皆さんも勇気を出して、留学生に声をかけてみてください。」

中山さんの発表内容から



アンケートや調査結果、自分の経験も交えて、留学生と友達になる実践方法を紹介しました。

シェア・タイムを経験して

「学生寮の先輩として留学生を担当して、たくさんの思い出を作り、学び、成長できたことを伝えられたのでプレゼンしました。その場にいた留学生と創大生が、さっそく交流してくれたのが嬉しかったです。」

スマートフォンで動画を見てね!



AReader の使い方

- 1 アプリケーション「AReader」(無料ソフト)をダウンロードします。
※通信費は別途発生します。
[iPhone, iPad, iPod touch をご利用の方]「AppStore」で「AReader」を検索してダウンロードします。
[Android をご利用の方]「Google Play」で「AReader」を検索してダウンロードします。
- 2 アプリケーションを起動します。
ダウンロードが完了したら、アイコンをタップしてアプリケーションを起動します。
- 3 カメラを AR マーカーにかざします。
カメラを AR マーカーにかざすと、そのマーカーに応じたさまざまなコンテンツがダウンロードされ、コンテンツをご覧いただけます。

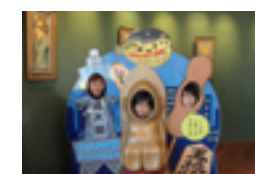
※対応端末は、Android 端末(Android2.3以降、但し Android3X シリーズを除く)、iPhone3GS、4、4 S、5、iPod touch (第4世代以降)、iPad2、新しいiPadです。またカメラが内蔵していない端末ではご利用いただけません。 ※本アプリケーションの利用にはインターネットに接続できる環境が必要です。 ※一部の Android 端末では本アプリケーションが正常に起動しないことがあります。 ※「iPod touch」および「App Store」は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。 ※「Android」、「Google Play」は、Google Inc. の商標または登録商標です。



発表後すぐに交流の輪が!



留学生と高尾山へ!



大阪にも遊びに!



左から博士後期課程2年三浦 太一さん、博士後期課程2年小倉 千佳さん、博士前期課程1年神田 祐樹さん

「医学とは違うアプローチで生命や病気の謎を解明しています」

Professor Nishihara is passionate about her research to illuminate the mysteries of life and illness.

時代の最先端をいく 生命情報工学科

工学部といえば、ロボットを開発したり、ロケットを飛ばしたりなど、機械を相手に研究しているというイメージが強いかもしれません。でも、工学の研究対象は幅が広く、最近ではゲノム情報(全遺伝子情報)や細胞情報といった生命の基礎情報も工学部の守備範囲に入ってきています。

創価大学工学部においても、生命情報工学科で最先端の研究が行われています。なかでも注目されているのが西原 祥子教授率いる研究室。生物の発生や免疫、病気などに深く関与する「糖鎖」の研究をしています。糖鎖とは聞き慣れない名前ですが、いったいどのようなものなのでしょう？

「糖鎖は細胞の表面にあります。各種の糖が鎖のように連なったもので、タンパク質に結合しています。その役割を解明するため、ショウジョウバエやES細胞を用いて研究を行っています」

すでに筋ジストロフィー患者の筋肉欠損と糖鎖の関係を解明したり、ES細胞の維持に糖鎖が関与することを世界に先駆けて発表するなど、着々と成果も上がっているそうです。

糖鎖の働きを解明すれば 病気のメカニズムもわかる

「医学部では、たとえばがんを解明しようとしたら、がん細胞という異常な状態を研究します。わたしたちのやり方はまったく逆で、正常な状態を知ることを出発点にしています。ES細胞はいろいろな細胞に分化しますが、正常に分化するときに糖鎖がどのように働いているのかを観察するのです。そのうえで、分化がうまくいかなかったときは糖鎖に何が起こっているのかを見る。正常な状態がわかっているならば、異常な状態もよくわかるのです」

つまり、糖鎖の働きが解明されれば、今まで明らかにされてこなかった、さまざまな病気の詳しいメカニズム解明につながることになります。さらには治療・予防にも役立つことでしょう。大きな可能性を秘めた研究から目が離せません。

血液型は糖鎖の型で決まる！

おなじみの ABO 式の血液型。何がどう違って血液型が決まるのかご存じですか？なんと糖鎖の型の違いなのです。赤血球自体はみな同じですが、その表面にある糖鎖の型の違いにより、血液型が決まるのです。



Profile

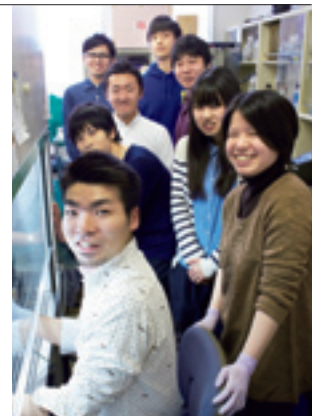
西原 祥子

Shoko Nishihara

東京大学理学系大学院化学科博士課程修了。理学博士。慶応義塾大学、東京慈恵会医科大学、University of North Carolina at Chapel Hill、三菱化成生命科学研究所を経て、1991年創価大学生命科学研究科細胞生物学部門へ。2003年より現職。

研究者の力を 伸ばしてくれる 西原先生の研究室

「ES細胞に興味があり、その研究をするために博士課程に進みました。世間では博士号を取得しても就職先がないのではと思われるようですが、優れた先生についてきちんと研究をしていれば大丈夫だと感じています。西原先生は学生一人ひとりに壮大なテーマを与えてくれます。大変ですが、やりがいがあって力もつく研究ができます」(平野 和己助教談)



平野助教(手前)と研究室の皆さん

桜並木



1

正門からの桜並木

正門から続く桜並木は、
圧巻の一言!約150本の桜が立ち並びます。



2

松風センター前の桜並木

正門付近の桜並木が終わる頃に、松風センター前のヤエザクラが美しく満開を迎えます。



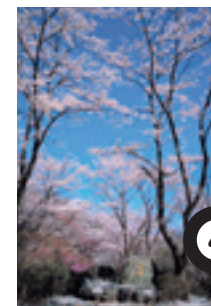
3

本部棟前の桜並木

桜並木の中に建つ本部棟を写真におさめてみてはいかがでしょうか?

記念の桜

創価大学には、創立者の提案により植樹されたたくさんの桜の木があります。



4

周桜

周総理との誓い、日中友好への願いが込められた「周桜」は文学の池周辺にあります。



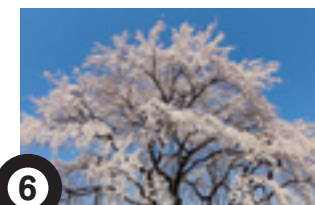
5

マータイ桜

ノーベル平和賞を受賞したワングリ・マータイさんが2006年2月に来学した際、植樹されました。

人気スポット

桜が咲き誇るキャンパスの中で絶景のポイントを2ヶ所ご紹介いたします!



6

出発の庭

出発の庭にある大きな枝垂れ桜は、卒業生・新入生の記念撮影スポットとしても有名です。



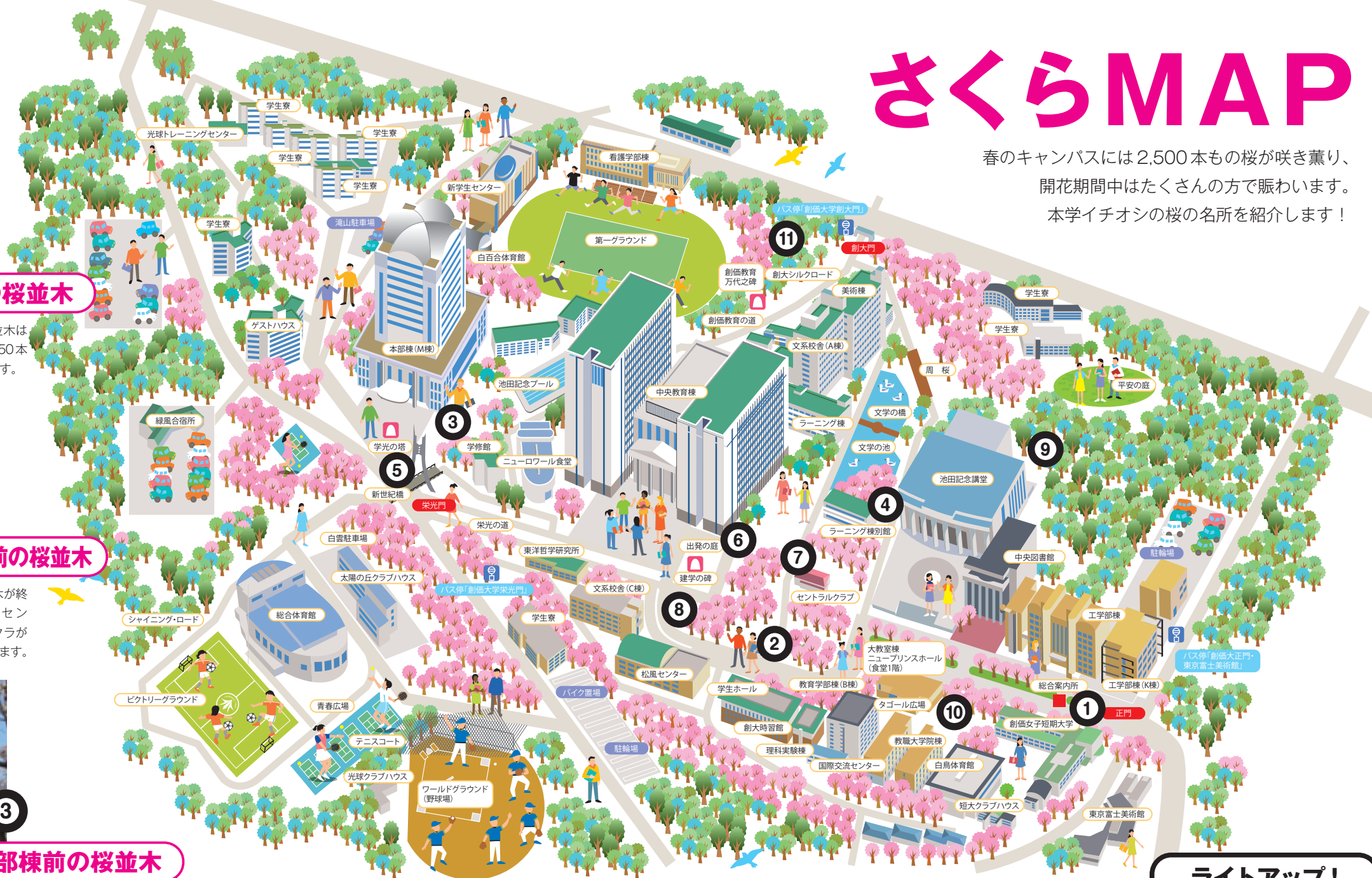
4

文学の池

文学の池周辺は春には桜以外の花も咲き薫り、学生の憩いの場になっています。

さくらMAP

春のキャンパスには2,500本もの桜が咲き薫り、
開花期間中はたくさんの方で賑わいます。
本学イチオシの桜の名所を紹介します!



ライトアップ!



1

正門付近と本部棟東側の桜並木が開花期間中ライトアップされます。

多種多彩!

同じように美しく咲き誇る桜ですが、よく見るといろいろなんです!

7



エドヒガン

花が咲いた後から葉が開くので観賞価値が高い。学内に5本あったものが現在は3本となり、希少性の高い桜です。

8



ヤエザクラ

八重咲きの桜という意味で、特定の品種ではなく大きな分類での呼び名になります。松風センター前に7品種のヤエザクラが植えられています。

9



カンヒザクラ

台湾原産の品種のため、別名は「タイワンザクラ」。学内では最も早く開花します。沖縄の石垣島など暖かい場所では自生しています。

10



ソメイヨシノ

最も一般的な桜で、公園や街路樹としてたくさん植えられています。学内でも桜花の道をはじめ、最も多く植えられています。

11



オオシマザクラ

葉は塩漬けにすると食用になり、桜餅を包んでいる桜の葉はオオシマザクラ。創大付近の「ゴルフ桜」もその一つです。

写真募集!

みなさんの渾身の「SOKA桜」ショットをお寄せください。

「キャンパスの桜」の写真、動画、ポエムなどなど、みなさんの力作を投稿サイト「communico」でシェアしてください。17Pに詳細!

A 見晴らし抜群の 本部棟カフェテリア

Cafeteria 本部棟 13F

営業時間 / 11:15 ~ 14:00 座席数 / 約150席

女子人気 No.1

男子人気 No.1



オムライス (スープ付き) ¥420
和定食 (ご飯と味噌汁付き) ¥420

晴れた日には、世界遺産の富士山を見ながら食事ができる絶好のロケーション。和食メインのメニューが自慢ですが、パスタやオムライスも好評。親御さんや友達が来校されたときには、ぜひ一緒に。

B これぞ学食！ ニュープリンスホール

New prince hall 大教室棟 1F

営業時間 / 10:00 ~ 20:00 座席数 / 約600席

女子人気 No.1

男子人気 No.1



うどんと半どんぶりのセット ¥420
鶏唐揚げ定食 (ご飯と味噌汁付き) ¥470

定食から、カレー、うどん、パスタ、パン、小鉢に一品料理までがズラリ。週に2回ほどメニューを変えています。ごま団子や杏仁豆腐などの手作りデザートも人気。

E パスタやパンが人気の ニューロワール2F

New Loire 2F

営業時間 / 11:15 ~ 14:00 座席数 / 約650席

女子人気 No.1

男子人気 No.1



ヘルシーランチ (どんぶり和小鉢、サラダ、スープ付き) ¥380~400
オムライス (スープ付き) ¥420

1Fよりヘルシー志向で、どちらかというとな女性向きメニューのニューロワール2F。とはいえ、揚げたり炒めたり料理の工夫で、男子も満足できる食べ応えで、栄養バランスも遜色なし。

G 朝から開いてる、 サブウェイ

SUBWAY 学生ホール2F

営業時間 / 9:30 ~ 18:30 座席数 / 約164席

女子人気 No.1

男子人気 No.1



えびアボカド 単品学割 ¥331~
学ホセット ¥410
炭火で焼きたチキン 単品学割 ¥399~
創大セット ¥480

値段は一般の店舗の15%引き。お得な「創大セット」・「学ホセット」(サンドとサイドメニュー1品のセット)が人気。さらに100円でセットにもう1品サイドメニューが追加できます。*写真はイメージです。

C ヘルシーメニューの プリンセスホール

Princess Hall 短大

営業時間 / 11:15 ~ 14:00 座席数 / 約300席

女子人気 No.1

女子人気 No.2



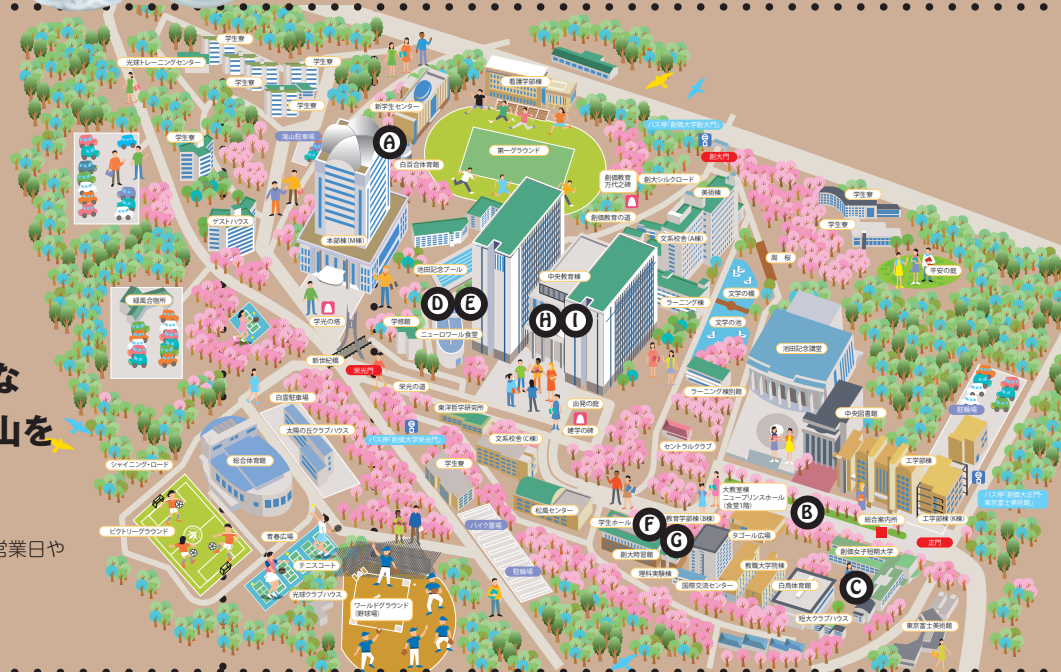
プリンセスランチ (ご飯と味噌汁付き) ¥330
味噌カツ定食 (ご飯と味噌汁付き) ¥330

ヘルシーさを重視したメニューがそろったプリンセスホール。カロリー少なめでも栄養がしっかりとれるように、工夫されています。定食の他、サラダやパスタ、オムライスも人気があります。

食堂 MAP

定食からスイーツまで豊富な
メニューが揃い、遠く富士山を
望む景色も楽しめます！

注：各食堂は日曜・祝日、授業のない時期など、営業日や営業時間、メニューが変わることがあります。



H 中央教育棟の おしゃれなカフェ

グランカフェ 中央教育棟 4F

営業時間 / 10:00 ~ 18:00



パンケーキ/プレーンメイプルシロップ付き ¥300
パンケーキ/チョコレート ¥350
クレープ(皿盛) /イチゴ ¥350

ラウンジとテラスを合わせたおしゃれなスペースの一角にあるグランカフェ。4月からスイーツの新メニューが登場！生地にリコッタチーズの入ったパンケーキや、もちっと感が自慢のクレープ。クレープは巻タイプと皿盛タイプがあります。

お得なサービスがいろいろ！

「食堂サービスデー」はサーロインステーキや豚ロースとんかつ、うな井などを低価格(昨年は350円)で提供！実施食堂はニューロワール、ニュープリンス、本部棟13階カフェテリア、短大プリンセスホール。また「学籍番号くじの日」には、毎月10日発表の2桁の数字が自分の学籍番号の下2桁と同じなら、好きなメニューが1品無料。「ポイントカード」はシールを10枚ためると1品無料になります。

*くじ、ポイントカードはカフェテリア、ニューロワール、プリンセスホールのみ。

D 豊富なメニューの ニューロワール1F

New Loire 1F

営業時間 / 11:15 ~ 19:30 座席数 / 約550席

女子人気 No.1

男子人気 No.1



中華プレート (味噌汁付き) ¥450
味噌カツ定食 (ご飯と味噌汁付き) ¥360

見た目はきれいでヘルシー、でもお腹一杯になる、そんな食堂を目指すニューロワール1F。揚げ物をたっぷり食べても栄養バランスが偏らないようメニューを工夫。昼食だけでなく夕食にもおすすめ。

F ドリンクのラインナップが 圧巻！ 学生ホール

Student Hall 学生ホール 1F

営業時間 / 8:30 ~ 20:30



「学ホ」と呼ばれる学生ホール1Fの売店。パンやお弁当、おにぎり、手巻き寿司、サラダ、パスタなどがそろっています。また、「ひとり暮らしの味方」コーナーでは、レタスやキュウリ、ジャガイモ、ニンジン、タマネギなどの野菜やバナナ、いちごなど季節の果物も購入可能です。

I 2013年にオープン！ ローソン

LAWSON 中央教育棟 B1F

営業時間 / 8:30 ~ 20:30



男子にも女子にも大人気なのが、Lチキやからあげくん。専用パンにはさんだり、おにぎりと一緒に食べたりと味わい方もそれぞれ。種類豊富なおにぎり人気は抜群です。中央教育棟にあるので、ここで授業がある学生には、とって便利です。

communico

投稿ページ [コムニコ] がスタート!

この春号より、新しく、SUNに投稿ページが誕生しました!創大、短大のキャンパスライフの魅力を大募集!ホームページの投稿ページと連動して、毎号、皆さんの作品を紹介していきます!

communicoはラテン語で“シェア”を意味する言葉。気軽にcommunicoでどんどんコムニコしてください!キャンパスの自然や建物の風景、図書館やカフェなどでの勉強風景、お気に入りのスイーツ、クラブやゼミなどの友人たちとの写真や留学先での写真、かっこよく編集された写真もOK!いち押しレシピや大学生活を謳った俳句や情熱溢れるポエムなどなど、あなたの作品をcommunicoページで紹介していきます!

投稿はホームページから!SUNに惜しくも掲載されなかった渾身の作品もホームページの投稿ページで大公開!動画の投稿もできます!掲載条件などの詳細はホームページで。



「In the cherry blossoms of Soka campus」 Marie



「ワールド会、いえい!留学、いえい!」ぶりーちゃん



「留学相談中!」 lwamoto



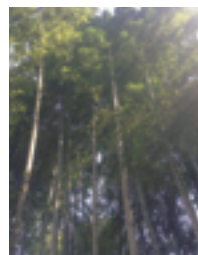
「寮での Sunday 掃除終了後。留学生も掃除好き!?!」 Yuuki



「大学カフェタイム<3グランカフェのパンケーキ!」 Cocoro



「ルート、先輩の勇姿」 Chio Inuzuka「竹林」 猫にまっくら



「グリーンカレーはるさめ」

〈材料〉グリーンカレー缶詰1個/春雨50g/冷凍むぎえび50g/しめじ1/2パック/パプリカ1/2個/牛乳適量
〈作り方〉1.春雨を熱湯でもどす。2.グリーンカレーを鍋にあげ、春雨、解凍したむぎえび、カットしたしめじと一緒に煮込む。3.味がよくなじんだら火を止め、お皿に盛り付け。4.カットしたパプリカを添えてできあがり!

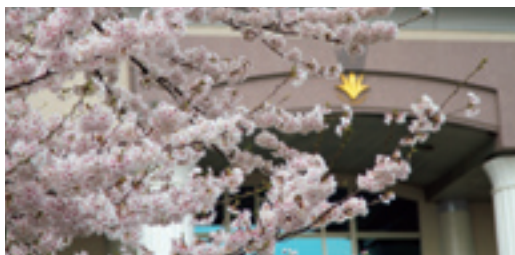
ニラ玉



「フランス留学中、バルセロナにて!」 大川愛里



「歴史的大雪」 深雪



「大好きなキャンパスの桜景」 まり



「授業後恒例のバス停行列。懐かし、愛おし、創大風景」 アルメニア

「季節で味が変わるニューブリアイス!お気に入りのメロン+バナナ」 ラム

投稿方法

communicoの投稿フォームから! <http://soka-communico.tumblr.com/submit/>に携帯、パソコンから簡単アクセス、簡単投稿!
※メールでの投稿も可能。 ou3zophz7wvie@tumblr.comへメールを送信。
携帯、パソコンからメールに画像、動画、テキストを添付して投稿。

創大 [世界47カ国・地域、148大学] の 交流ネットワークから

From Soka's Global Network

創大生が語る 私が見た“世界”

2013年度は約800名の創大生が海外留学を体験しています。
タイへ留学した田中さんの声を聞きました。

創価大学

Soka University (Japan)



田中正さん
Masa Tanaka
経営学部経営学科4年

タイ留学で「生きる」目的が明確になりました。

タマサート大学とはどんな大学？

優秀な学生が多いです。世界中からの留学生も多く、「世界で戦う」ということを教えてもらいました。タマサート大学は経営・経済の国内ランキングでは1位2位を争う優秀な大学です。基本は英語ですが、タイ語で受けられる授業があり、半年間はタイ語を学ぶためにダブルスクールをしていました。

タイの文化に接して感じたことは？

よく「ほほえみの国」と言われますが、「人が優しい」です。日本に比べて少しルーズなところもありましたが(笑)、初めて会った人にも親切にしてくれるなど、タイに行って「人ってこんなに優しくて温かいんだ」と感じました。

留学を経験して決意したことは？

「生きる」目的を深くした1年でした！特に、留学中バンコクのスラムでボランティアをしたことがきっかけとなり、「世界で苦しむ人々を救えるような仕事をしたい。アジアで起業して雇用をうめるような力をつけていきたい」という夢を見つけることができました。

これから留学を目指す後輩へひと言！

留学はしてもしなくても、また留学する国がどこでも関係ないと思います。すべては、選んだ自分自身の責任だからです。大切なのは、後悔しないように「ベストを尽くす」ことだと思います！

世界から来た留学生が語る“私の国”

2013年度に世界から創大にやってきた留学生は42カ国176名。
ハバナ大学からの交換留学生がキューバについて語ります。

本気でスペイン語を学ぶならぜひハバナ大学へ。

ハバナ大学について教えてください！

ハバナ大学は歴史が古く、革命の指導者フェデル・カストロの出身校でもあります。勉学に励む友人たちが多く、若者の爽やかな雰囲気に溢れた大学です。私は、ドイツ語を勉強したくてハバナ大学に入学し、今は第二言語として学んでいる日本語を磨くため、交換留学生として創価大学に来ています。

キューバをひと言で表すと？

「明るい」です！民族的にも明るい性格で、皆悩みがあっても笑ってしまいます。

キューバ人の好きなのは？

ダンスです！皆子供のころからダンスを習うので、キューバの人はよく、「血の中にダンスが流れている」と言われるほどです。

メッセージ

友達は皆優しく、日本に来て日が浅い私を自分のことのように心配してくれます。スペイン語留学に興味がありキューバを考えている方は、美しい海岸沿いもオススメです。勉強に励みたいのであれば、ハバナ大学が良いと思いますよ！

ハバナ大学

Universidad de La Habana (Cuba)



デニセ・ファルコン・ロドリゲスさん
Denisse Falcon Rodriguez
キューバ大学外国語学部



タマサート大学

Thammasat University (Thailand)

概要：タイを代表する王立総合大学。留学生は、「タイスタディー」と呼ばれるタイの社会、言語、政治、経済、文化等を英語で学ぶ授業を履修する。現地の学生と同じ授業を履修するためには、かなりのタイ語の語学力が必要。

オタゴ春季語学研修に短大生20名が参加！

6月からいよいよ2年生対象に
SUA 短期留学プログラムがスタートします！！

短大の語学研修プログラムの中で唯一、ホームステイを体験できるニュージーランドへの語学研修を2月18日から3月16日まで実施しました。短大生1人に対し1家族のホームステイを通して異文化を学び、世界各国から集う留学生と共にオタゴ大学で授業を受けるなど、充実した3週間を過ごしました。また、今年度から2年生対象に実施するSUAへの短期留学プログラムが始動します。4・5月は短大で留学事前準備のプログラムを実施。6・7月はSUAで短大生特別カリキュラムによる英語研修を実施し、2ヶ月間のSUA留学を体験できます。



インタビュー「創価教育」と私

The Interview about the Memories of Soka Education

開学当初より本学の大学建設に携わり、1987年より12年間にわたって学生部長を務められた高村忠成特命教授に語っていただきました。



法学部特命教授

たかむら ただなり

高村 忠成 Tadanari Takamura

1971年早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了。1987(昭和62)年4月より1998(平成10)年3月まで学生部長を務める。専門はフランス近代政治史、政治学原論、国際政治論。主な著作に『国際政治論』、『政治学』(新版)、『平和と創造と宗教』(編訳)、『近代フランス政治史』他。

人生の針路を大転換

創価大学設立の構想が発表されたとき、私は大学3年生でした。池田先生の平和教育、教育第一という視点に大きな衝撃を受けた私は、将来貿易会社で働き、世界を飛び回ることを夢見ていましたが、人生の針路を大転換し創価大学の教員を目指したのでした。池田先生の大学構想の中で、私が最も印象深かったのは“人間学部”という発想でした。当時はこうした視点は国にも民間の大学にも全くありませんでした。しかし、『国富論』で有名な英国の経済学者アダム・スミスは、『道徳情操論』の中で人間分析を展開しています。人には「シンパシー」という心の働きがあり、それが経済や国を動かしていると。また、哲学者トマス・ホブズが著した『リヴァイアサン』は国際政治学、国家理論の基本ともいべき名著ですが、彼の理論も鋭い人間分析の上に成り立っています。

つまり、人間洞察なくして国家論、経済論はないと言えます。池田先生が人間学部と言われた背景には、法律や経済、文学等の根底には、人間を徹底して見据える目が必要だという考えがあったのです。

「学生第一」という言葉の背景

大学の在り方について池田先生は3つの事柄を挙げました。まず、これはあまりにも有名ですが、「創価大学は学生第一」という言葉です。大学発祥の淵源を辿ると、中世ヨーロッパにおいて大学は、本当に学びたい人々がお金を出し合って教員を雇い講義を聞く場でした。「学生第一」という考え方は、本来の大学の姿そのものであり、大学の運営全てに学生の代表が参加する創価大学の特色の源がこの言葉にあります。

第二に「教育が中心」という言葉です。教員が研

究するのは当たり前であり、教育にこそ力を注ぐべきであると。この言葉を深く考えると、研究に忙しかからと学生の教育を疎かにするのは本末転倒であり、一流の研究者は一流の授業をするものであることを示唆しています。

第三に指導講師制です。設立当初、創価大学には先輩がいない状況でしたから、社会人が大学に来て学生達と交流することは、非常に意義のあることでした。最近では、慶応大学や早稲田大学などこうした考え方を採り入れ、OB,OGとの連携を深めているようです。

学生の輪の中へ

開学後も池田先生は折りある度に、大学を訪れては学生や教職員を直接激励されました。卓球やテニスで得意な創立者は体育館でその場にいる学生達と過ごすこともあり、また当時のA棟地下の喫茶店ではコーヒーを飲みながら、学生達と懇談されたりしました。ある学生が「韓国人として生きるか、日本人として生きるか悩んでいます」と問いかけると、「日本人も韓国人も無い、人間は皆同じ。国境は人間が勝手に作ったものなのだから、これからは世界市民として頑張っていきなさい」と励まされました。そして今彼女は、その言葉通り、日本で税理士として立派に活躍しています。

また、敷地内に公園を作る計画が持ち上がった時は、枯れ木が乱立し雑草が生い茂る土地で、先生自ら学生達に混じって作業をされていました。その休憩中、女子学生が、「先生と共に、平和社会のために働かせて頂きたい」と懇願すると先生は、「ありがとう。皆それぞれの分野で活躍してもらいたいのだよ。ただ、私が創大を建学した精神は忘れないでほしい」と話されていました。そして、中央図書館設立に際しては、「創大生には他大学に負けない日本一、世界一の人材になってもらいたい。そのためにこの図書館を作ったのだよ」と、様々な書名を挙げながら、本を読むことの大切さ、勉学に徹して挑戦することの意義を説かれていました。

創大は学生が主役

現在、創価大学はグローバルな学習環境の整備を着実に進めて大きな成果を挙げていますが、開学

の目処が立った時点で、すでに池田先生は「次はアメリカに創価大学をつくる」と世界に目を向けていました。今、アメリカ創価大学となって実現しています。創立50周年を目前にした今、創大生には世界で一流の人間になる、どんな分野でもトップになる、という目標に向かって邁進してほしいですね。また、創大は学生が主役です。一人ひとりが、「自分が創大に貢献できることは何か、何を残すことができるのか」を真剣に考えて、創大の新たな時代を築いてくれることを期待しています。

学生、教員と親しく接する創立者



学生寮にて学生達と懇談(1972年)



創価大学教員野球チーム紅白試合にて(1974年)



第7回体育祭で中国の留学生達を激励(1978年)

2014年4月度の新任役職人事および新任教員紹介

Faculty Appointments and Faculty Member Profiles

創価大学役職人事



経済学部長
マリコ・J・ホンマ



経営学部長
栗山 直樹



文学部長
浅山 龍一



国際教養学部長
マリア・グアハルド

創価大学新任教員

法科大学院	教授	松本 貴一朗	国際教養学部	准教授	ハルノリ・ミヤギ	ワールドランゲージセンター (WLC)	
教職大学院	講師	近藤 茂代	工学部	准教授	山上 敦士	講師	ジリアン・ベルトン・サイトウ
	講師	三津村 正和		講師	西山 道子	講師	スティーブン・モーガン
	講師	若井 幸子		助教	土屋 健司	講師	高江洲 朝子
経済学部	講師	安武 妙子	看護学部	教授	大釜 徳政	講師	リーアン・アンダーソン
経営学部	講師	スカダー・Dオスカー		教授	本田 優子	助教	佐野 真歩
法学部	教授	南方 暁		准教授	志村 千鶴子	助教	井上 咲希
	講師	中山 賢司		准教授	田中 博子	助教	富田 浩起
	助教	上田 宏和		助教	今松 友紀		
文学部	講師	岩川 幸治		助教	松平 裕佳	教育・学習支援センター (CETL)	
教育学部	教授	藤原 義博		助手	二村 文子	助教	小山 貴之
	准教授	中野 良吾		助手	渡部 優子		
				助手	浜口 恵子		
				助手	柳澤 恵美		

中央教育棟落成とグローバル人材育成推進事業記念講演会開催

Delivery of the commemorative speech

12月19日、中央教育棟ディスカバリーホールにて中央教育棟GLOBAL SQUARE落成と文部科学省グローバル人材育成推進事業の記念講演会を開催し、大学・高校などの教育関係者や企業・一般招待者、学生・教職員の代表約800名が出席しました。

元国連事務次長の明石 康氏が「グローバル人材育成と大学の使命」と題して講演を行いました。内容は、グローバル人材に必要な条件として、第一に積極的な行動力(チャレンジ精神)、第二に異文化理解、第三に外国語コミュニケーション能力の3つをあげました。また対話、会話の中で注意すべき点などを語り、創価大学のグローバル化に対して今後も期待したいと話されました。



第40回創価大学、第28回創価女子短期大学卒業式を盛大に挙行

Soka University, Soka Women's College Combined Commencement Ceremony



3月20日(木)に本学池田記念講堂にて挙行された卒業式典では、石川短大の開式の辞に続き、田代理事長が創立者のメッセージを紹介しました。大学院・学部・通教・短大の卒業生の代表に学位記、別科の代表に修了証が授与されました。創立者賞などの各賞表彰の後、卒業生代表として松野 光晴さん、松本 幸子ソニアさん、山口 和美さんが抱負を述べました。馬場学長の告辞に続き、来賓であるノーベル賞受賞者のコスタリカ共和国 アリアス元大統領から祝辞がありました。原田最高顧問の挨拶の後、全員で学生歌を大合唱して終了しました。

スマートフォンで動画を撮ってね!

第40回卒業式

学位記および各賞受賞者

博士号授与	上田 宏和 博士(法学)
	高橋 雄志 博士(工学)
	呉 麗思 博士(工学)
	朱 瑩青 博士(工学)
	石川 久美子 博士(工学)
	柏崎 広美 博士(工学)
	佐藤 智子 博士(工学)
	土屋 健司 博士(工学)
	江川 直子 博士(社会学)

博士前期課程・修士課程代表	金 明姫 文学研究科教育学専攻
---------------	-----------------

法科大学院総代	長野 静子
---------	-------

教職大学院総代	金子 敏治
---------	-------

創立者賞	菅原 将 工学部
	松本 幸子 ソニア 経営学部
	山口 和美 短大 現代ビジネス学科

学部総代	櫻本 和幸 経済学部
	北嶋 めぐみ 経営学部
	三本木 奈津美 法学部
	長谷川 幸代 文学部
	森永 浩二 教育学部
	石垣 原野 工学部

通信教育部総代	大江 光子
---------	-------

別科総代	崔 眞雄
------	------

北京語言大学学位記	古賀 誠
	川口 広美
	高橋 大地
	十枝内 陽子
	朝野 嵩史
	堀江 幸生

インド創価池田女子大学世界友情賞	吉田 桜 文学部
	浜谷 小雪 短大 英語コミュニケーション学科

マハトマ・ガンジー青年平和賞	柳沢 春樹 文学部
	高野 清美 短大 英語コミュニケーション学科

鲁迅青少年文学賞	中村 信之 経済学部
	佐藤 千華 経済学部

冰心青少年文学賞	野村 明子 経済学部
	渡邊 花蓮 短大 現代ビジネス学科

スポーツ栄光賞	石川 悠太 法学部
	降旗 健朝 教育学部

短大学位記総代	不破 清美 短大 現代ビジネス学科
	宮田 華那 短大 英語コミュニケーション学科

創価大学貢献賞	山崎 信二 経済学部
	遠藤 大佑 経済学部
	阿部 佳代子 経済学部
	池田 正宏 経済学部
	岩城 正子 経済学部
	竹鼻 綾乃 経済学部
	水本 大貴 経済学部
	松野 光晴 法学部
	利倉 弘 法学部
	吉川 秀之 法学部
	岩島 和希 法学部
	内田 恭子 法学部
	牛田 貴広 法学部
	田村 聡美 法学部
	後藤 美和 文学部
	小池 智子 教育学部
	福井 暁子 教育学部
	堀江 洋子 教育学部
	宮城 和美 教育学部
	勝本 美智子 工学部
	小嶺 浩明 工学部

創大生がベトナムでボランティアに参加

Soka Students volunteer in Vietnam

3月3日より7日間、6名の創大生がベトナム・ホーチミン市でのボランティア研修に参加しました。JICA(ジャイカ)の日本センターにおいて、ベトナム経済・文化講義を受講した後、国際貿易大学の学生と文化交流を実施。ストリートチルドレンの保護施設「ピンチュウ・センター」では、70名の子供達への教育支援ボランティアを行いました。子供達と学びながら喜びを分かち合う充実した研修となり、同センター長は、「素晴らしいボランティア活動に感謝申し上げます。来年も是非来ていただければ幸いです」と謝辞を述べられていました。



中央教育棟に太陽光発電システムを設置

Solar power system installed in the Global Square

2月、中央教育棟の東棟と西棟屋上に、計 416 枚の結晶シリコン製パネルによる太陽光発電システムが設置され、本学最大規模の発電設備となりました。電気の最大出力は 99kW で、年間約 30 トンの CO₂ の削減が見込まれます。同建物の B1F にモニターが設置されています。

言語教育エキスポ 2014 で優勝

Soka students win at the Language Education Expo

3月9日、早稲田大学にて開催された「JACET 言語教育エキスポ 2014」のビジネスコンテストにおいて、予選を勝ち抜いた東大、法政、創大（GCP2期の岩城 温子、3期の中西 なつみ、カーリー 法流、知念 珠良の4名が参加）でプレゼンテーションが行われ、創大が見事優勝しました。

韓国・昌原大学短期日本語研修の修了式開催

Completion ceremony for the Japanese language training program

2月5日、5回目となる昌原大学短期日本語研修の修了式が中央教育棟で行われました。1月8日から約1か月間行われた研修には、昌原大学から 16 名の学生が参加。留学生の一人は、「研修を通じて日本語習得への思いがさらに強くなりました」と語っていました。

国際開発ユースフォーラムに創大生が参加

Soka students participate in the International Development Youth Forum

3月9～16 日に開催された「International Development Youth Forum 2014」において、田中 美帆さん（GCP2期生）のチームが優勝、重富 由貴さん（GCP2期生）のチームが3位入賞！ 重富さんは「人生において貴重な経験でした」とさらなる課題探求に意欲を燃やしていました。

第1回 SAGE JAPAN が創価大学で開催

1st Sage Japan held at Soka University

3月22日、学生ホール2F 多目的ホールにて、「第1回 SAGE JAPAN CUP」が開催されました。SAGE とは学生が高校生と共に社会貢献事業を考案・実践する国際的な教育プログラム。「フィリピンの初等教育の中退率を下げる」等のプレゼンテーションが行われました。

西浦ゼミのプログラムが経済産業省から受賞

Nishiura Seminar wins METI prize

経済学部西浦昭雄ゼミのプログラム「学生中心 PBL 型学習によるグローバル人材輩出の試み」が、経済産業省の「社会人基礎力を育成する授業 30 選」に選ばれました。西浦教授は、「ゼミ生・卒業生の努力とキャリア教育、GCP、IP 等が評価された」と語っています。

八王子夢街道駅伝で創大チームが準優勝

Soka team wins second place in long-distance relay race

1月26日、「第64回全関東八王子夢街道駅伝競走大会」が開催され、創価大学 B チームが準優勝を飾りました。公道を走る駅伝大会としては国内最大規模で 402 チームが参加。並みいる強豪の中、山口 修平選手（法学部2年）が3区で区間最高記録を出すなど大健闘しました。

交換留学生の修了式を開催

Completion ceremony held for exchange students

1月25日、本部棟国際会議場において、交換留学生、アメリカ創価大学研修生、特別履修生など 19 カ国・地域 49 名の修了式が執り行われました。修了式では創立者から留学生への温かいメッセージが紹介され、代表者3名が感謝と決意のスピーチを行いました。

春季海外研修の結団式を開催

Spring Overseas Training Programs start

1月24日、ディスカバリー・ホールで春季海外研修（17 カ国・地域 24 研修）の合同結団式が開催され、381 名の学生が参加しました。小出稔国際部長からは、新たに設置された9研修をはじめ全研修が紹介されました。代表の学生からは有意義な海外研修への抱負が語られました。

芸人グランプリ団体戦で創大落語研究会チームが優勝

Rakugo Research Society wins Daigaku Geikai grand prize

3月10日、「国民的大学生芸人グランプリ～大学芸会 団体戦 2014～」が開催され、エテ×モンキー・山田賢太郎・電気ドンキーを擁する「創価大学落語研究会 赤組」が優勝し、日本一に輝きました。全国の大学より 104 団体が参加という激戦の中で優勝の栄冠を手に入れました。

第6回創価女子短期大学 マリー・キュリー賞 受賞者

様々な分野において短大建設に大きく貢献し模範の姿を示した代表 15名に授与されました。(敬称略、学年は2013年度のもの)

Winners of the 6th SOKA Women's College Marie Curie Award

中山 プリシラ 現代ビジネス学科 2年 留學生として学びに激し、イングリッシュラウンジのスタッフとして英語教育の向上に貢献。	畑森 優和 現代ビジネス学科 2年 クラブ連合会運営委員長として、短大のクラブの充実と発展に多大な貢献をした。	佐野 緑 現代ビジネス学科 2年 遠距離通学のなか 2年間精勤。社会福祉法人への新規就職を勝ち取った。	板橋 秀美 現代ビジネス学科 2年 大学コンソーシアムへの取り組みや吹奏楽部員として課外活動の改革に貢献した。
齋藤 ゆり恵 現代ビジネス学科 2年 成績優秀で、模範の短大生活を送るとともに長野県の金融機関への新規就職を勝ち取った。	金澤 美和 現代ビジネス学科 2年 学生会執行委員長として短大建設に活躍。短大生の要となって貢献し新たな歴史を築いた。	原 美保子 現代ビジネス学科 2年 サッカー部員として 10年ぶりの勝利に貢献。長野県の信用金庫への新規就職を勝ち取った。	佐藤 ゆき 現代ビジネス学科 2年 大手旅行会社の新規就職を勝ち取り、後輩への道を開いた。
後藤 優香 英語コミュニケーション学科 2年 全寮代表として、学生寮において模範となる姿勢で寮運営に取り組み、後輩の育成に尽力した。	後藤 あゆみ 英語コミュニケーション学科 2年 模範の短大生活を送るとともに、成績優秀で学科トップクラスの成績を修めた。	林 由美 英語コミュニケーション学科 2年 成績優秀。英語力の向上に努めた。	志岐 幸恵 英語コミュニケーション学科 2年 第 29 回白鳥祭実行委員長として短大生全員の力を結集し、白鳥祭の大成功に尽力した。
石橋 友里恵 英語コミュニケーション学科 2年 秘書検定 1 級をはじめ多くの資格試験上級の取得に挑戦し、優秀な成績を修めた。	佐藤 明美 英語コミュニケーション学科 2年 学生会受験部長として短大生の力を結集し、受験生の激励、および短大啓蒙に尽力した。	柳原 遥華 英語コミュニケーション学科 2年 資格試験上級の取得に挑戦し優秀な成績を修め、検定協会よりビジネス文書 1 級優秀賞を受賞。	

2014 年度学生団体のリーダーを紹介します。 Student Organization Representatives in 2014


創価大学

創大を支える若きリーダー達
学生自治会・校友会・男女学生寮・友城会の各リーダーです。学生自治会中央執行委員長の榎澤 光一さんは「創大生全員で、新たな歴史を築きます!」と力強く語りました。



創価女子短期大学

女性教育に学ぶリーダー達
今春、短大 30 期生が入学。学生会執行委員長の長田 香織さんは「創立 30 周年に向けて、大成長の 1 年になっています!」と語る。学生会、クラブ連合会、学生寮のリーダーは決意に燃えています。



健康を科学する

第1回 タバコ

看護学部

添田 百合子准教授

修士(看護学)。

専門は成人看護学(慢性)。

元大阪医科大学

付属病院看護師長



「タバコは体に悪い」と認識していても、実は本当の怖さを知らない人が多いようです。そこで添田先生からタバコの成分や依存症について解説していただきました。

喫煙は発がん物質を吸う行為

タバコには何百という数の発がん物質や今話題のPM2.5などの有害物質が含まれています。それらが肺を汚し気管支粘膜を傷つけ、吸わない人に比べ、高確率でがんになる原因となります。



タバコに含まれる主な有害物質

危険にさらす「副流煙」の恐さ

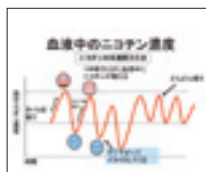
「1日 20 本以上吸う夫の妻は、喫煙者でなくても肺がん死亡率が通常の 2 倍」というデータが! タバコの先から立ち上がる副流煙は、喫煙者が吸う主流煙より害が大きいのです。



「副流煙」「呼出煙」の図

あなたではなくニコチンが悪い!

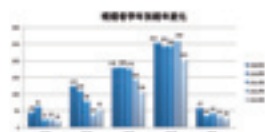
タバコの害を知っていても止められないのは、あなたの意志が弱いのではなく、ニコチンの強力な依存性のせいです。だからこそニコチンと手を切るには正しい知識と専門家の助けが必要です。



ニコチンの血中濃度の変化図

たとえ 1 本でも吸わない決意を

友達が吸っているから、カッコいいからと、好奇心や軽い気持ちでタバコを手取るのは絶対禁物! 1 本でも吸ったら止められなくなります。タールの少ないタバコや少ない本数ならいいだろうというのは甘い考え。もの足りない分、深く吸い込むので体への害は同じ。徐々にではなく、即止める決断をしましょう!



学生の喫煙率のデータ

OPEN CAMPUS 2014

中央教育棟 GLOBAL SQUARE をメイン会場に、池田記念講堂で開催される歓迎フェスティバル、学生ガイドが案内しながら広大なキャンパスをまわるバスツアー、学部・学科の学びを体験できる体験授業、他にも入試ガイダンスや相談コーナーなど、多岐にわたるプログラムを用意しています。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

創大で、あなたの未来の姿を発見してください!!

参加者登録で記念品プレゼント

オープンキャンパスに参加し、参加者登録をすると創価大学オリジナルの素敵な記念品をプレゼント!

2014

5月3日 土 祝
4日 日

8月2日 土
3日 日
24日 日

2015

3月22日 日

開催時間
10:00~16:00
(予定)



歓迎フェスティバル



学部展示&相談コーナー



学部生との交流コーナー(看護学部)



体験授業



キャンパスバスツアー



留学相談コーナー



受験生ラウンジ

受験生や高校生・保護者などの皆様が、入試や学部、大学生活などについて何でも相談できるスペースです。また、創大生の母校(高校)訪問や、受験生の激励のための事前相談、資料配布も行っています。

受付時間: 平日 9:30~17:00
土曜 9:30~12:00

場所: 中央教育棟1階
エントランスロビー右側
アドミッションズセンター内

受験生 キャンパスツアー



オープンキャンパスになかなか参加できない方に、創大生が大学内を案内します。ツアーの所要時間は約2時間。月~金曜日の9時~17時、土曜日の9時~12時の時間帯で行っています。ツアーは、1週間前までにご予約ください。

予約は **WEBから** **創価大学 受験生キャンパスツアー** で検索!

ジャパントイムズから感動の『250万分の1の留学』が発刊!

留学体験を収録した単行本。モスクワ大学、デリー大学、フィリピン大学等に留学した本学学生15名がインタビューを受けたリアルな内容になっています。価格は1200円(税抜き)。留学サービス及び全国書店で販売。



編集部 からの お知らせ

編集部では、読者の皆様の声を募集しています。これからも、充実した魅力ある誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

FAX: 042-691-9300 E-mail: sun@soka.ac.jp

